

一般質問

3月15日(木)・16日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無党派は、会派に属さない議員)

質問者

森小井相新飯人庭北福山之岡渡西伏周
 滝田沢井島見山川島之内部辺牧木東
 芳泰崇達英武由久賢
 江彦文夫規男紀人肇
 大(創志会) 江(フォーラム桐生) 江(無志会) 江(創志会) 江(政研クラブ) 江(無志会) 江(創志会) 江(無志会) 江(創志会) 江(政研クラブ) 江(公明クラブ) 江(創志会) 江(無志会) 江(無志会) 江(無志会) 江(無志会) 江(無志会) 江(公明クラブ)

放射能対策

質問 森山 享大(創志会) 風評被害対策として詳細な農地の土壌調査を(畑土採取の様子)



実施する考えは。

答弁 農地の土壌調査については、福島第一原子力発電所の事故直後から、県により実施されている。市としては、県の農地土壌調査と並行して、空間放射線量が毎時〇・二三マイクロシーベルトを超える農地土壌調査について早急に実施していきたい。

質問 農地の空間放射線量を調査する考えは。

答弁 先程申し上げた土壌調査と同時に、該当農地における空間放射線量も合わせて調査していきたい。

雑がみ収集

質問 小滝 芳江(フォーラム桐生) 雑がみ回収の周知方法と収集状況については。

答弁 希望のあった自治会などを対象にした説明会や広報きりゆうへの掲載、チラシの毎戸配布により周知啓発を図っている。収集状況については、本年二月末現在の累計で八万二千二百五十キログラムである。

質問 わかりやすいチラシを作成する考えは。

答弁 確かに、判断に困ることがあるという声は聞



(ごみ収集カレンダー)

いている。今後、できる限り他市の事例などを参考にしながら、わかりやすいものを作っていくように研究していきたい。

行政評価制度

質問 井田 泰彦(無党派) 今後の事業評価、政策評価の手法については。

答弁 今後の事業評価の実施方法については、現在検討中である。二度行った事業仕分けの実績を生かして、客観性が担保された精度の高い評価の実施に努めていきたいと考えている。また、政策評価については、当面は事業評価の完成度を高めていきたいと考えており、実施には至っていない。

質問 議会と行政が連携



(桐生市役所)

した事業評価、政策評価の実施については。

答弁 議会から申し入れがあれば、検討、実施は可能と考えている。

経済成長

質問 相沢 崇文(創志会) 織物産業の現状と取り組みについては。

答弁 繊維工業が占める割合は、製造業において事業所数で四十九パーセント、従業者数で二十四パーセントである。取り組みについては、最近、桐生テキスタイル輸出商談会を開催した。

質問 有名ブランドが集うミラノなどを訪問したり、海外のバイヤーを呼んで産地を見学してもらうような桐生市独自の政策の考えは。



(桐生テキスタイル輸出商談会)

答弁 製品の付加価値を高めブランド化を図り、戦略的に売り出していくことが重要であることから、今後十分に検討していきたい。

人口増加対策

新井 達夫（政研クラブ）

質問 長野県下條村では、黒保根地区と同様な形態の村であるが、若者向けアパートの整備や高校生までの医療費無料化など独自施策により、人口増に成果を上げています。桐生市も隣接する自治体と同じ施策ではなく、若者世帯の定住促進施策など、他の自治体よりも優遇施策が必要ではないか。

答弁 人口減少の問題は、今後のまちづくりの根幹をなす重要な課題であり、新



（桐生市役所）

生総合計画や後期基本計画の最重要課題として位置付けている。御提案についても、費用対効果などの観点から十分に検証したい。

予算編成の公開と市民参加

飯島 英規（無党派）

質問 予算編成の公開、予算編成の過程と市民参加（桐生市役所）



は、市民がまちづくりについて考えるようになるなど効果が大きい。来年度から行う考えはあるか。

答弁 予算編成は、事業の緊急性、費用対効果の検討、交付金や補助金などの活用などを考慮して事業採択を行っているため、多くの期間を要し、例年予算議案上程直前まで検討・修正を加えている。予算編成の公開、市民参加は、作業過程での調整などかえって市民に誤解を生じさせることが危惧されることから、難しいものと考えている。

防災

人見 武男（創志会）

質問 渡良瀬川と桐生川を有する当市では水害が危惧される。市民に防災意識を高めてもらう取り組みは。

答弁 区長会を通じて自主防災組織結成のお願いや防災啓発の推進を図っている。境野・菱地区は「水害に強いまちづくり研究会」のモデル地区として地域における防災や避難のあり方などに取り組んでいる。

質問 公共施設以外の避難場所を設ける考えは。

答弁 境野・菱地区では、民間施設や高層建物を地域社会の一員としてとらえ、所有者に協力いただき一時避難場所に指定している。



（避難場所の看板）

給食食材

庭山 由紀（無党派）

質問 食材の検査方法は。

答弁 消費者庁から貸与（食品等放射能検査装置）



される機器で測定する。

質問 地産地消の根拠は。

答弁 食育基本法である。

質問 給食の大前提は

「児童の健康に障害が起ころ可能性のないものに限る」である。放射能汚染されている東北、関東以外の遠方の食材を使うことの検討は。

答弁 子供の安全確保を前提に食材選定に努めたい。検査品目、結果、貸与機器の活用など教育委員会としてのスタンスを検討中。

質問 スタンスにかかわらず、子供の安全を第一に考えることを強く要望する。

まちづくり

北川 久人（創志会）

質問 伝建地区における本町通り整備に関するビジョンについては。

答弁 全国の伝建地区では、歴史的風致の向上や通行の利便性の観点から電線の地中化などの環境整備に積極的に取り組んでおり、訪れる観光客にも好意的に受け入れられているようだ。

現在、市としては生活道路としての交通の安全確保と歴史的景観への配慮を両立させるべく、道路管理者



（本町通り）

である県に道路整備をお願いしている。今後も県と連携しながら伝建地区にふさわしい整備に向けて、取り組んでいきたい。

公共交通の充実

福島 賢一（政研クラブ）

質問 「相生の松」周辺地域に両毛線、東武鉄道などの結節、集積構想は。

答弁 この地域には、四鉄道が近接し、広い土地があるなど条件は揃っている。桐生市都市計画マスタープランの中で、超長期における地域中心核の考え方として位置付けてあるが、この構想を実現するためには、色々な分野が関係し、乗り越えなければならぬ諸々の課題がある。



（相生の松周辺）

しかし、現在のような閉塞感が漂っている時代こそ、当市の将来を見据えたグラウンドデザインが必要であり、今後も研究していきたい。

災害時要援護者への支援

山之内 肇(公明クラブ)

質問 災害時要援護者は情報収集や避難に多くの時間やサポートを必要とするので、早い段階での「避難準備情報」が必要では。

答弁 「避難準備情報」は桐生市災害対策本部の判断による発令となるが、災害弱者のために早く出すよう心掛けたい。

質問 要援護者のための福祉避難所が桐生市においても必要であると考えるが、設置、指定計画の考えは。

(桐生市地域防災計画書)



答弁 福祉避難所の指定は無いが、民間施設からの申し出もあることから、今後、指定に向け福祉施設などに協力を求めていきたい。

黒保根地区の農地改良問題

西牧 秀乗(無党派)

質問 建設残土が搬入された農地三箇所の現状は。

答弁 上の農地では切り

枝等の散在が見られたので、耕作者に改善指導をし、下の農地は平地の状態である。残土条例が適用される残りの農地については、同条例の構造基準に適合するよう施工業者に対し工事のやり直しを要請した。今後も指導・監視を継続していく。

質問 今後の防止対策は。

答弁 残土条例や農業委



(黒保根支所)

員会の決定を経て施行が見込まれる農地改良に関する要綱に基づき検査体制などを強化し、埋立て等の適正処理を促進していきたい。

(仮称)梅田浄水場

岡部 純朗(創志会)

質問 浄水場完成予定と完成後の取水割合は。

(梅田清流広場)



答弁 平成三十二年度の完成を目指している。取水割合は、現在、渡良瀬川の三七割に対し桐生川の二三割となっているが、完成後は桐生川の水が六割から七割になるように考えている。

質問 浄水場完成後の配水区域は。

答弁 (仮称)梅田浄水場の配水区域については、従来の上菱浄水場の配水区域のほか、水道山低区配水池へ送水することにより元箱浄水場からの水とブレンドして配水する計画になっている。

末期がんの在宅緩和ケア

伏木 康雄(無党派)

質問 桐生地域の現状と県内他市の状況は。

答弁 医療と連携した訪問看護等により痛み緩和や相談に対応するが、緩和を中心とするシステムや業者はなく、近隣市も同様に行政による総合的対策はない。

質問 高齢化率の高い本市に、末期がん在宅緩和ケア支援センターを設置すべきと考えるが、見解は。

答弁 国が推進する在宅医療連携拠点事業を行うこ



(保健福祉会館)

とにより、同センターの機能を補えるものと考えている。医療関係機関や介護事業者などと連携・協議する中で研究していきたい。

住宅リフォーム助成

渡辺 修(無党派)

質問 住宅リフォーム助成の申請手続きは。

(桐生市役所)



答弁 申請者の納税状況の確認方法や、請負業者による代行申請、施工途中における追加工事の申請変更許可など、市民にとって利用しやすい制度になるよう要綱の作成に努めていきたい。

質問 施工業者に対する考えは。

答弁 この制度により、市内の住宅関連産業を中心とした経済の活性化を図ることも重要なことと認識しているため、施工業者は市内業者という条件は必要なものと考えている。

多「ごみ」を減量

周東 照二(公明クラブ)

質問 統一指定ごみ袋の完全実施後の減量成果は。

答弁 実施後五カ月間の対前年比は九十六・五パーセントで、昨年度の対前年比九十九・二パーセントと比べて減量幅が増大した。

質問 一層のごみ減量に向け三R(発生抑制、再利用、再生利用)をさらに推進すべきであり、三Rアドバイザー制度の導入、生ごみ処理容器等購入補助の再開、現行制度を名称変更し



(桐生市清掃センター)

三R推進協力店認証制度の実施を提案するが、見解は。

答弁 効果的な施策と受け止める。導入と必要性について、研究、検討したい。

請願の審査結果

この定例会では、請願5件の審査を行い、その結果、1件が不採択、4件が閉会中の継続審査となり、提出者から請願1件取り下げがありました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第4号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める請願

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第1号	公契約で働く人の「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」を実現し、経済成長につなげる「公契約基本法」の制定を求める意見書採択についての請願
教育民生委員会	第5号	全額国庫負担による最低保障年金制度の創設を求める請願
教育民生委員会	第6号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願
教育民生委員会	第7号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願

◎取り下げとなった請願

請願第10号…第5期介護保険事業計画策定に関する請願

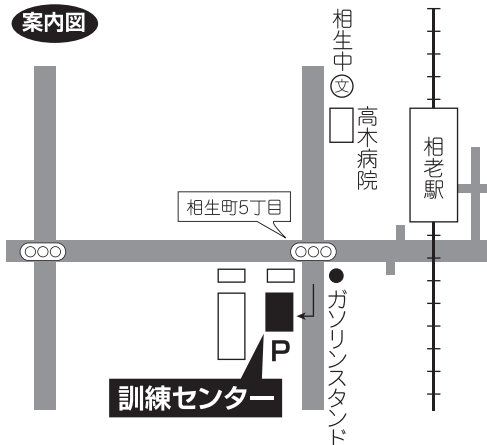
桐生市議会報告会・意見交換会のお知らせ

桐生市議会は、平成24年第1回定例会の報告会と市民との意見交換会を下記のとおり行います。申し込みは要りませんので、直接会場へお越しください。

時間 平成24年5月12日(土)
午後3時から午後5時30分まで

会場 桐生市職業訓練センター 2階大ホール

案内図



決議

この定例会では、次の決議案が議員により提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

放射性物質から市民生活の安全安心を守ることを求める決議

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方から関東に及ぶ広範囲に甚大な被害を及ぼし、桐生市にも大きな被害をもたらした。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質による人体や農畜産物等への影響が強く懸念されるとともに、風評による被害が市民生活への不安を極度に高めている。

特に、放射性物質の拡散は、市民の生命や健康に直接的な被害をもたらすばかりでなく、子孫にまで影響を及ぼし、国家の存亡にかかわる未曾有の事態である。

我々、桐生市議会で実施している議会報告会及び意見交換会でも、市民の切実な訴えや生産農家の不安の声が多く寄せられている。

市民の尊い生命や健康は言うに及ばず、生産農家への風評被害を早急に払拭し、安全安心な市民生活の確保に向けた対策が必要である。

こうした中、桐生市では、すでに市民のため、様々な対策に積極的に取り組んでいるが、以下の点について、さらに特段の措置を講じられるよう求めるものである。

記

- 1 生産農家の不安解消のため、農耕地へのきめ細かな土壌調査を実施し、測定結果を公表すること。併せて、安心して農作業に従事できる環境づくりに配慮するとともに、農畜産物等への風評被害払拭のため万全な対策を講じること
 - 2 放射性物質から市民と子ども達の健康を守るとともに、市民の不安を最大限に解消するため、一層の実行可能な線量低減策及び不安解消策を推進すること
 - 3 放射能に対する市民の様々な不安を把握し、解消に向けた対応策を講ずるために市民の声を広く聴取すること
- 以上、決議する。

平成24年3月14日 桐生市議会

林 鶴
はやし つる
行 勝
ぎょう かつ
弘 正
こう まさ
(新任) (再任) 氏 氏

山 上
やま かみ
達 也
たつ や
(新任) 氏

谷 信
たに のぶ
良 氏
よし (新任) 氏

人事案件
市議会は、次の人事案件四件に同意または異議ない旨回答することに決定しました。

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は… **6月8日(金)**です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成24年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧いただけます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。